



各 位

平成 29 年 4 月 5 日

会 社 名 株式会社リカム・ジャパン・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 赤尾 伸悟  
(JASDAQ・コード 6636)  
問合せ先 取締役 管理部長 中原 麗  
電 話 0 3 - 6 4 5 0 - 3 6 1 6

当社株式の「業績」に関する猶予期間入りに関連する  
平成 29 年 3 月期業績の状況についてのお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月期から平成 28 年 3 月期までの 4 期連続して営業利益、及び営業キャッシュ・フローの額が赤字の状態になったことから、有価証券上場規程第 604 条の 2 第 1 項第 2 号に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となっており、平成 29 年 3 月期に営業利益、及び営業キャッシュ・フローのいずれもが赤字の場合は上場廃止となる状況になっていることから、現況につきましてお知らせいたします。

記

当社は、平成 25 年 3 月期から平成 28 年 3 月期までの 4 期連続して営業利益、及び営業キャッシュ・フローの額が赤字の状態になったことから、有価証券上場規程第 604 条の 2 第 1 項第 2 号に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となっております。

このような状況下、当社は新規事業基盤であるバイオ燃料事業に特化し、メキシコ、タイ、ベトナム各国で営業活動を展開してまいりました。平成 29 年 3 月期におけるバイオ燃料事業の販売実績につきましては、メキシコ 878,400kg、タイ 49,945kg、合計 928,345kg を納品しております。また、PRIMUS VISION S.A. DE C.V. (以下、「PRIMUS VISION」といいます。) より平成 29 年 3 月 6 日付で 995,904USD の入金があり、平成 29 年 3 月 30 日、平成 29 年 3 月 31 日には、PROFON S.C. (以下、「PROFON」といいます。)、及び PRIMUS VISION S.A. DE C.V. (以下、「PRIMUS VISION」といいます。) の署名権限者である CARLOS ALBERTO PADILLA CORONA 氏(以下、「CARLOS 氏」といいます。) から 11 億円(小切手)にて支払いがあり、当社はこれを受領しています(注)。なお、CARLOS 氏から当社へ支払った 11 億円につきましては、CARLOS 氏が代表を務めます PROFON がファンド事業も行っていることから、CARLOS 氏が紹介を受けた日本国内の投資家から調

達した資金であることを当社代表取締役が CARLOS 氏に確認しています。

これらの結果から、平成 29 年 3 月期の業績見込みとして、営業利益につきましては監査法人と協議中ではありますが、営業キャッシュ・フローにつきましては黒字を見込んでおります。現時点における見込みのため、今後の決算作業において見込額が変動する可能性があります。

平成 29 年 6 月 30 日提出予定の平成 29 年 3 月期有価証券報告書にて、営業利益または営業キャッシュ・フローの値のいずれかが黒字と確認された場合、平成 29 年 3 月期有価証券報告書提出日に猶予期間入り銘柄から解除されることとなります。

(注) メキシコ PROFON、及び PRIMUS VISION の署名権限者である CARLOS 氏からの入金に関します詳細につきましては、当社が平成 29 年 3 月 31 日に PR 情報として公表しました「スーパーソルガム種子販売における入金に関するお知らせ」をご参照願います。

以 上